

Title	執筆者紹介 ; 編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2014
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.31, (2014.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20140000-0236

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

伊藤 彌彦
同志社大学名誉教授

北原 かな子
青森中央学院大学教授

新谷 泰明
九州大学基幹教育院教授

真辺 将之
早稲田大学文学学術院准教授

吉野 剛弘
東京電機大学情報環境学部講師

岡安 儀之
東北大学大学院文学研究科専門研究員

三科 仁伸
慶應義塾大学大学院
文学研究科後期博士課程

堀 和孝
慶應義塾福沢研究センター研究嘱託
慶應義塾大学教職課程センター非常勤講師

西沢 直子
慶應義塾福沢研究センター教授

王 賢鍾
韓国延世大学校准教授

編集後記

本巻の特集テーマは「近代日本の中等教育」とした。これは、二〇一三年一月に本センター主催により開催されたシンポジウム「明治期における中等教育―接続問題を考える―」に基づくものであり、その時にパネラーをおつとめいただいた伊藤、新谷、真辺の三先生に加え、北原、吉野両先生から、おもに日本の中等教育における近世から近代への接続、および高等教育への接続という二つの「接続問題」に関わる論考をお寄せいただいた。これらを契機として、日本の近代化において中等教育が果たした役割と意義に関して、今後いつそう議論が深まることを期待したい。お忙しい中、ご協力を賜った先生方には、この場を借りて重ねて御礼申し上げます。

今回の一般投稿論文は五本の応募があり、レフェリー各二名による査読の結果、論説二本、研究ノート一本を掲載することになった。ほかに、福沢論吉関係新資料紹介を収めた。

本誌は、今後とも、福沢論吉および慶應義塾史を中心とする近代日本研究の成果発表および交流の場（フォーラム）として、その役割をしっかりと果たしていく所存である。

次巻は、二〇一六年二月の刊行予定である。多数の野心的な論文の応募を期待したい。